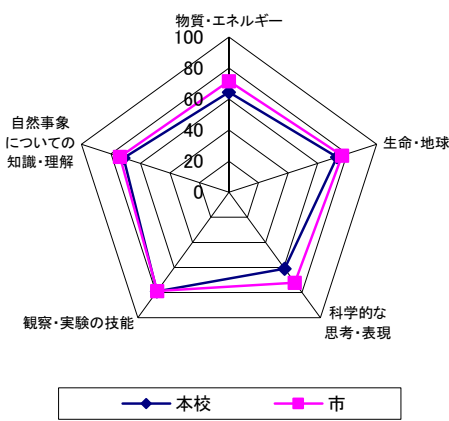


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	64.4	71.6	67.4
	生命・地球	73.1	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	60.9	72.1	68.8
	観察・実験の技能	79.0	78.7	76.3
	自然事象についての知識・理解	71.4	73.9	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は、市の平均を7ポイント下回っている。 ○物の燃え方では、二酸化炭素の性質や酸素の捕集法についての問題の正答率が90%を上回った。 ●物のとけ方では、ミョウバンが水に溶ける量についてグラフから読み取る問題の正答率は38%で市の平均を26ポイント下回った。また、電流のはたらきでは、実験操作の誤りを説明したり、実験結果を修正するための方策を考えたりする問題の正答率が低く、市の平均を10ポイント以上下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・グラフの読み取りが苦手な児童が多くみられた。実験結果の資料の読み取り方を再度確認する。また、同じ実験を繰り返すなど試行錯誤を経験させることで、正しい操作を理解させる。
生命・地球	平均正答率は、市の平均を3ポイント下回っている。 ○植物のつくりとはたらきについての問題の正答率は90%を上回った。また、動物のからだに関する問題もよく出来ており、体の器官の名称の正答率は100%だった。 ●唾液のはたらきを調べる実験については、正答率が38%で市の平均を14ポイント下回った。	・実験の条件を修正する問題の正答率が低かった。実験がうまくいかない場合について、考えられる理由をグループで話し合わせたり、再度実験させたりすることにより、正しく結果を導けるように支援する。